



☆☆ ☆高速道路会社の取り組み



◆◆◆高速道路を活用した地域活性化の取り組み◆◆◆

(東日本高速道路株式会社)

NEXCO 東日本グループは、「高速道路の効果を最大限発揮させることにより、地域社会の発展と暮らしの向上を支え、日本経済全体の活性化に貢献します」というグループ経営理念を掲げ、グループ経営ビジョンではステークホルダーのひとつである地域社会に対し、「地域に愛され、地域の発展に貢献する企業」を目指して成長することを定め、事業活動を通じて地域の活性化を図る取り組みを行っています。今回は、その取り組みの中から、①ドラ割による観光促進、②事業構想大学院大学との連携、③SA・PAにおける取り組みの3点を紹介します。



☆☆ ☆道路法令Q&A



◆◆◆地名の変更等に伴う路線認定の公示内容の変更等について◆◆◆

(国土交通省 道路局 路政課)

地名の変更等に伴う路線認定の公示内容の変更等について解説する。



☆☆ ☆TOPICS ○○○。.. ○○○。



◆◆◆中央通りの道路空間の使い方を考える社会実験◆◆◆

(四日市市 都市整備部 市街地整備課)

現在、四日市市では近鉄四日市駅とJR四日市駅の駅前広場や中央通りの歩行者空間を整備する中央通りの再編(延長約1.6km)やバスタ四日市の整備などに取り組んでいます。この再編にあわせ、幅70mの緑豊かなクスノキ並木を有する中央通りの道路空間の使い方を考える社会実験を行いましたので、これらの取り組みについて紹介させていただきます。



☆☆ ☆地域における道路行政に関する取組み事例



★国道 329 号与那原バイパスの整備について★°・*:.。

(内閣府 沖縄総合事務局 南部国道事務所 調査第一課)

沖縄県は戦後、米軍統治下におかれ、1972 年の復帰から国道をはじめとする道路交通網の整備を実施してきました。2003 年 8 月に唯一の軌道形交通である「沖縄都市モノレール」が完成・開業したものの、陸上交通の大半を自動車交通に依存していることから、全国でも渋滞の著しい地域となっています。

沖縄総合事務局では、沖縄本島のハシゴ道路計画（ネットワーク）構想のもと、沖縄自動車道、国道 58 号、国道 329 号を南北を走る強固な『3 本の柱』として位置付けるとともに、那覇都市圏において「2 環状 7 放射道路」としても位置付け整備を進めているところで

す。
本稿では、国道 329 号与那原バイパスの整備についてご紹介します。



★愛知県有料道路運営等事業（有料道路コンセッション）について★°・*:.。

(愛知県建設局 道路建設課有料道路室)

全国初の試みとして愛知県有料道路運営等事業（有料道路コンセッション事業）は 2016 年 10 月より開始し、7 年目を迎えました。

民間事業者による有料道路の運営が実現したことにより、本事業が目指す理念「三方よし」の成果が着実に表れてきています。本稿では有料道路コンセッションの概要や取組状況等について紹介します。



★伊勢湾岸自動車道 刈谷スマート IC の開通★°・

(愛知県 刈谷市 建設部 道路建設課)

本市の新たな玄関口として令和 4 年 3 月 26 日に開通しました刈谷スマート IC は、刈谷市の北部にある伊勢湾岸自動車道刈谷パーキングエリアに併設されている刈谷ハイウェイオアシスにも接続する形で整備しました。本稿では、施設概要や整備効果などをご紹介します。



☆☆ ☆編集後記



今年の目標のひとつに、フルマラソンの完走を掲げていますが、そのトレーニングを進め
る中で、懸垂ができればカッコいいなあと思うようになりました。懸垂は、高い鉄棒などに
手をかけてぶら下がり、腕や背中 of 力を使って、顎が棒の高さにくるまで身体を引き上げる
運動です。

1回もできないことはわかっていたので、こっそり練習できる場所を探すため、近くの公
園に行ってみると、子供用の遊具のほか、筋トレやストレッチができる大人向けの健康遊具
も多くあることを知りました。いまどきの公園には、大人も楽しめる健康遊具が充実してお
り、そのなかに、懸垂ができる遊具を見つけました。

小学生の時、校庭にとっても高い鉄棒があり、休み時間に練習したことが思い出されます。
落ちて大けがをしたことがあります。懸垂のほか、大車輪という大技ができたほど得意だ
った鉄棒。現時点では、ぶら下がっているのがやっとなで、時間にして30秒程度です。懸垂
ができなくなった理由としては、当時よりも体重が増えたことのほか、握力が弱く体幹が使
えていないこと、腕や背中 of 筋力が不足していることが要因のようです。懸垂は、主に広背
筋、僧帽筋、大円筋、三角筋、上腕二頭筋といった上半身全体の筋肉を、バランスよく鍛え
ることができ、効果が高いトレーニングだといわれています。再びできるようになりたいも
のです。

「自分はできるだろうか？」と思った方、ぜひ公園へ足を運んで挑戦してみてください。

(U)